

官民連携まちづくりとSIBの取り組みについて



MDC

Maebashi Design Commission

国土交通大臣賞受賞

前橋市 都市計画部 市街地整備課
CCRC・計画推進室長
瀬瀬 正樹

～本日の流れ～

(将来ビジョンの策定)

前橋市アーバンデザイン

2019年9月策定



(まちづくりの担い手)

前橋デザインコミッション

2019年11月設立



(モデルプロジェクト)

馬場川通りプロジェクト

2021年1月開始



(民間支援手法)

ソーシャル・インパクト・ボンドの導入

2021年9月契約

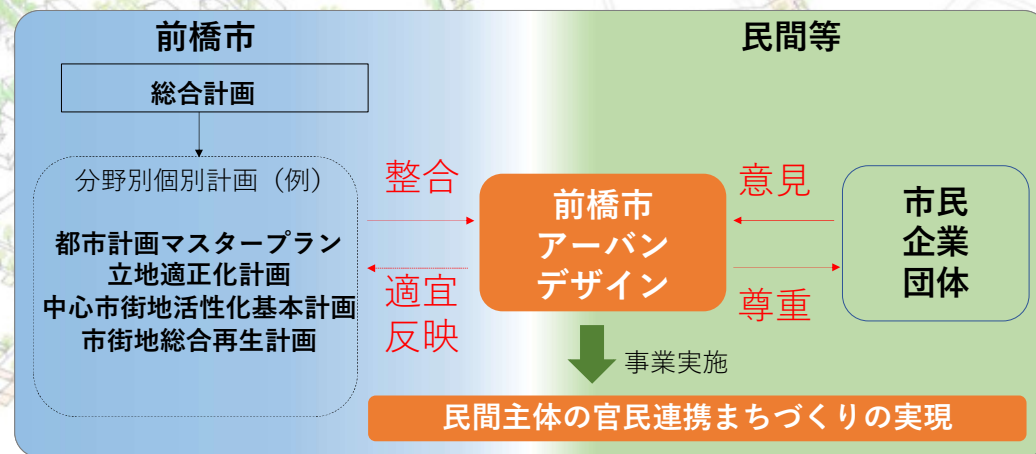
全国初

前橋市アーバンデザイン (将来ビジョンの策定)

策定のポイント

計画の考え方・位置づけ

民間主体のまちづくりを推進するため、既存の行政計画とは違った考え方や位置づけ



アーバンデザインの位置づけ

固定されないアクション

共通理念に基づく固定されない民間の小さなアクション（社会実験等）を推奨



民間主体のエリアマネジメントを実現



<まちづくりの方向性>

エコ・ディストリクト



ミクストユース



ローカルファースト

都市の利便さと自然と暮らす居心地の良さを
兼ね備えたまちづくり

住、職、商、学といった
複数用途の混在したまちづくり

地域固有の資源を
最大限活用したまちづくり

<まちづくりの指針>

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車であちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先進技術を活用する

<まちの将来像イメージパース>

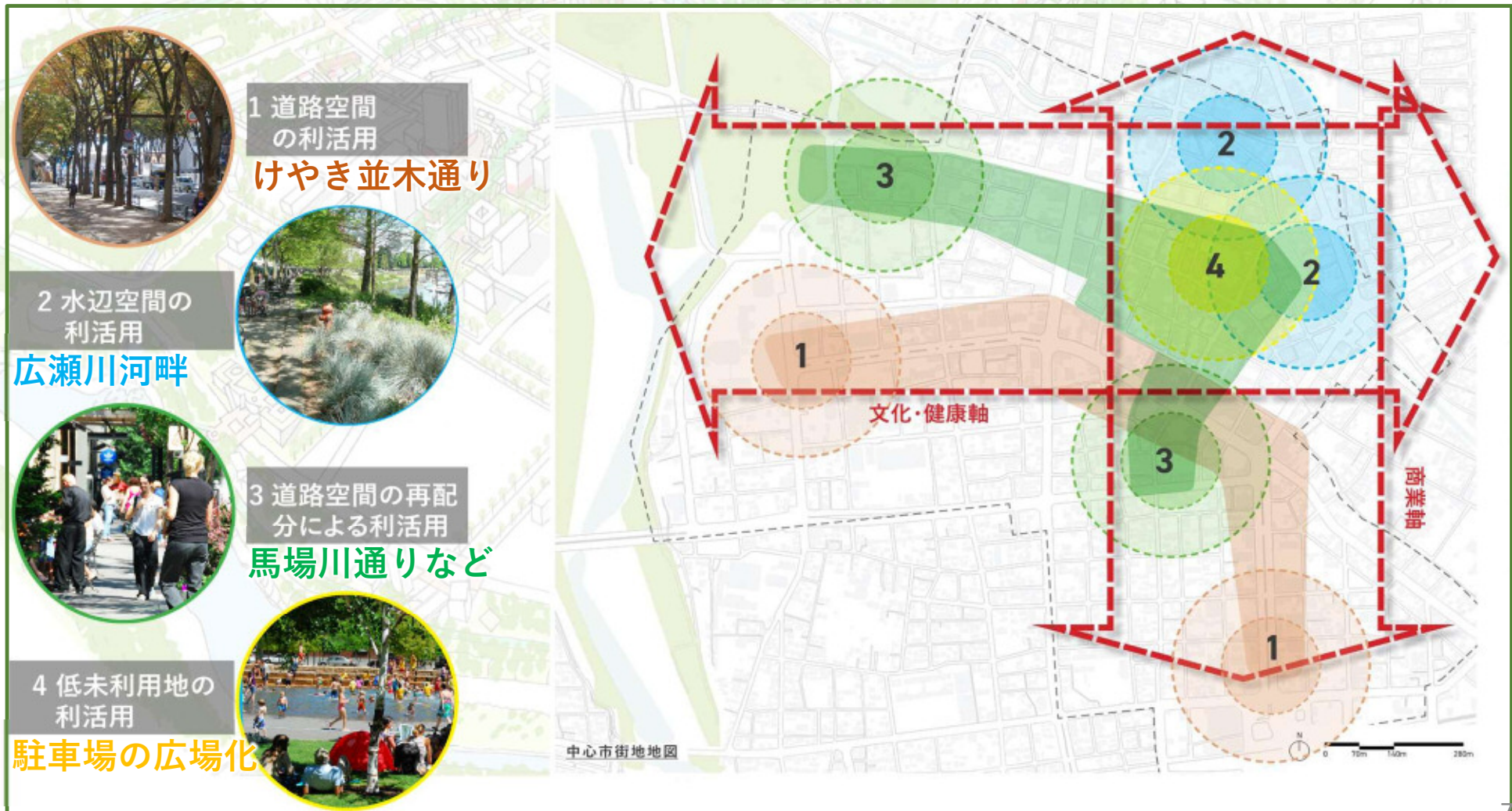




アクションプラン編

< 4つのモデルプロジェクト >

公共空間の利活用をテーマに社会実験等を取り入れながら「まちの変化」を具体的に可視化する先駆的なプロジェクト



前橋デザインコミッション

(まちづくりの担い手)



都市再生推進法人 (2020年4月指定)

- アーバンデザインの啓発・ブラッシュアップ
- 都再法人としてモデルプロジェクトの推進
- まちづくりプレイヤーの支援・発掘・育成
- エリアマネジメント支援
- 民間会費での運営

MDC
Maebashi Design Commission

主役はまちのプレイヤー！

まちの経営企画室

コーディネート &
ファシリテーション

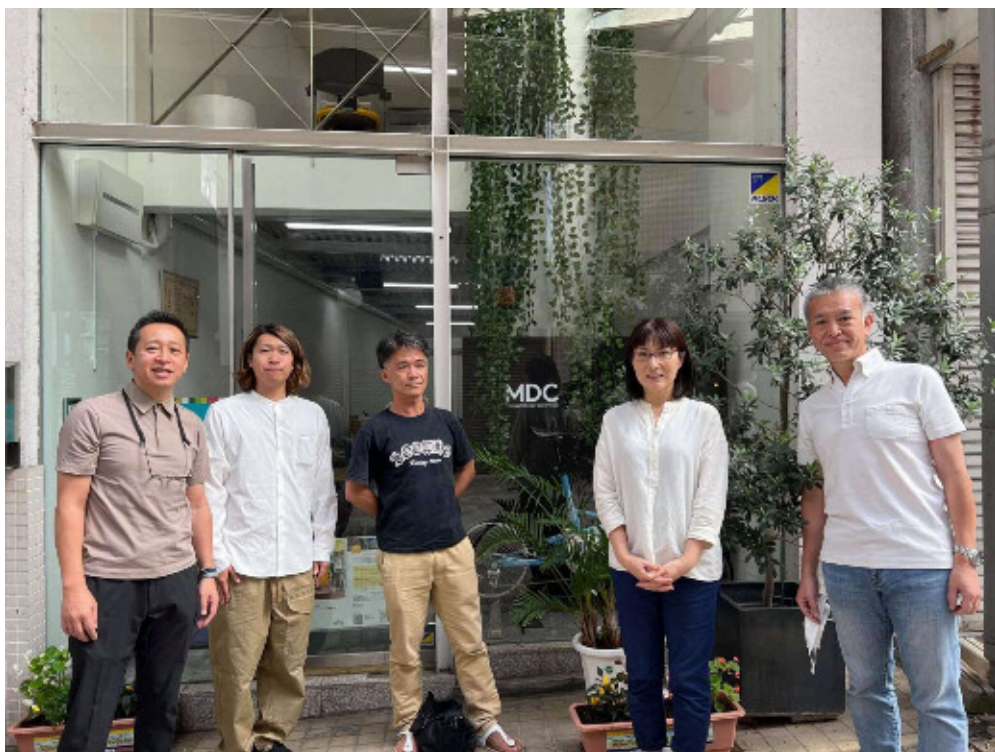
基本的に事業者
(プレイヤー) ではない

<推進体制>

- 役員：理事8、監事2
- 常勤：事務局長兼企画局長 1、事務局 1
- 兼業スタッフ：3 ⇒ 広報宣伝プロ、研修・人材育成プロ、デザイナー

2022.01.25現在

	正会員	賛助会員	(計)
法人会員	70	10	80
個人会員	21	45	66
		(総計)	148
年会費総額 ￥17,490,000			



【前橋市中心市街地

令和4年1月

弁天APARTMENTS (住宅・店舗)

太陽の鐘設置事業

前橋市アーバンデザイン (官民連携のビジョン)

エコ・ディストリクト

ミクストユース

ローカルファースト

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車であちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先端技術を活用する

千代田町中心拠点地区再開発事業 基本構想



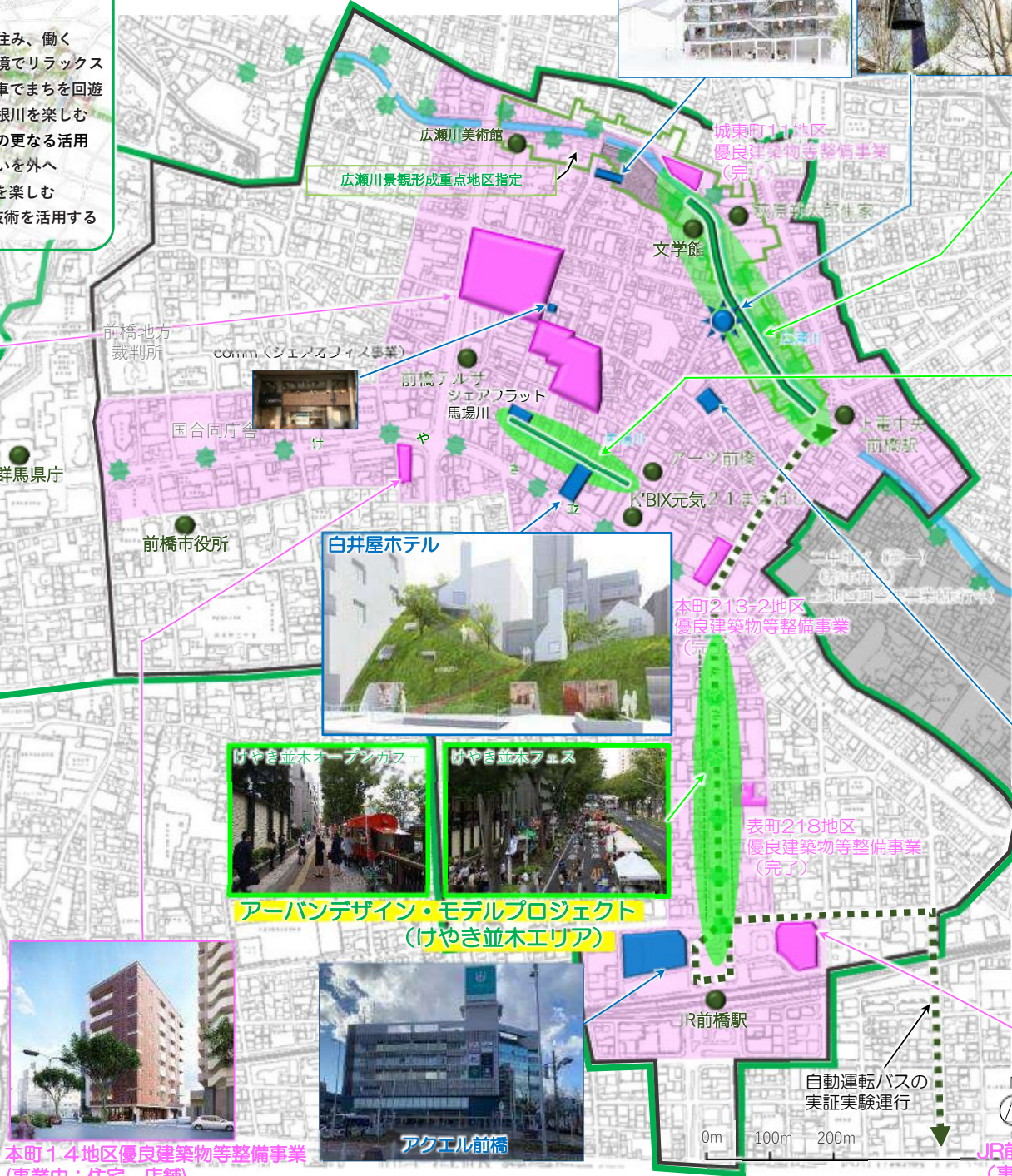
前橋版リノベーションまちづくり



前橋市アーバンデザイン策定区域

市街地総合再生計画区域

市街地総合再生計画重点施策区域



アーバンデザイン・モデルプロジェクト
(広瀬川エリア)



アーバンデザイン・モデルプロジェクト
(馬場川エリア)



Qのひろばプロジェクト(住宅、店舗)



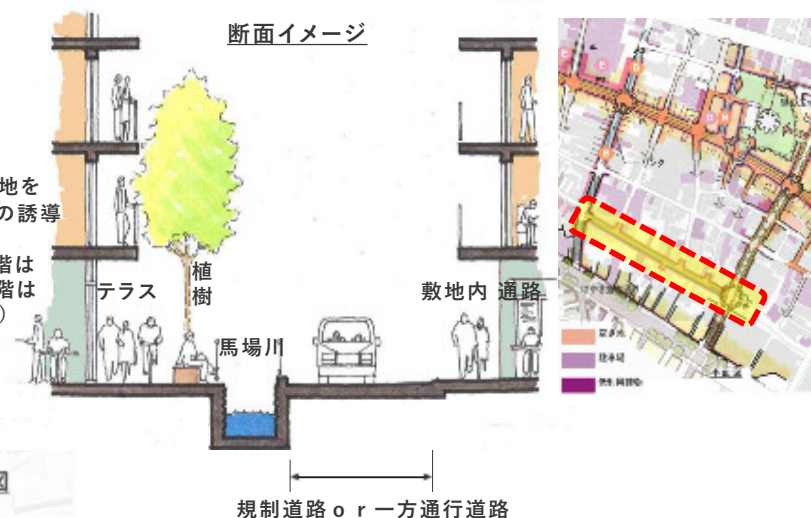
JR前橋駅北口地区第一種市街地再開発事業
(事業中：住宅、店舗、一時預かり保育事業)

馬場川通りプロジェクト

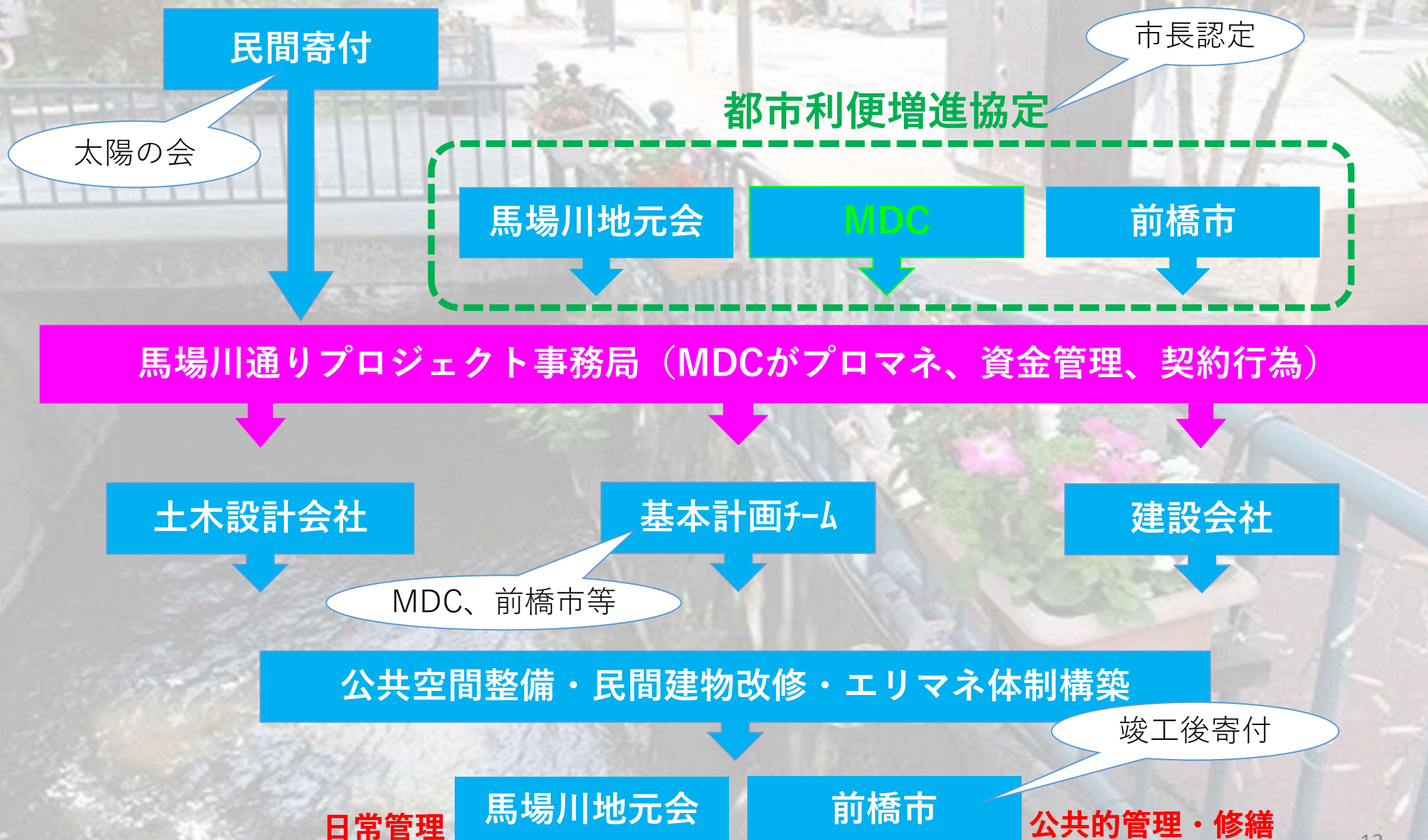
(アーバンデザイン・モデルプロジェクト)



■道路空間の再配分による利活用



都市利便増進協定を活用したスキーム



アーバンデザインを
体現したい！

馬場川地元の取組み

建物
リノベーション

UD
ガイドライン

街並（建築）
将来イメージ

街路全体
景観計画

車道

歩道

河川

土木設計

土木工事

土木工事
地域合意
形成

日常
維持管理

コミュニティ
マネジメント

コミュニティ
デザイン

MDCアーバンデザイン
リーディングプロジェクト

寄付者・太陽の会
MDC・PM業務

寄付金で
いいモノをつくりたい！

ハード整備だけではなく『カルチャー・コミュニティ』づくりへ



写真:townphoto.net

「前橋市アーバンデザイン」のリーディングプロジェクトとして
馬場川通り遊歩道公園の改修計画が始まります。
ステキになる馬場川で「ワクワク」を一緒にしかけるメンバーを募集します！

馬場川は、かつて流行の発信地として賑わい、
今も水や花に囲まれた、市民の憩いの場です。
ホテルや美術館もあり、ワクワクがどんどん広がる
可能性を秘めた場所。

今回の遊歩道公園改修に合わせて、
もっともっと馬場川を楽しむプログラムを
一緒にめぶかせませんか。

『馬場川通りプロジェクト準備委員会』 企画運営に携わる市民を公募（現在137名）



『馬場川通り勉強会』

MA
DESIGN







『SHIROIYA HOTEL開業・BLUE BOTTLE COFFEE出店』



上毛新聞
8月2日
日曜日
発行所(〒371-0001) 群馬県上毛市上毛
上毛新聞
(総合)027-255-1111
(編集)027-255-1112
(広告)027-255-1113
(販売)027-255-1114
(事業)027-255-1115
© 上毛新聞

市民の活動芽吹く

前橋・馬場川通り

「めぶく。」をキャッチフレーズにまちづくりが進む前橋市で、市民による新たな活動が芽吹いている。中心街の馬場川通り沿いには、市民有志の尽力により人気の喫茶店「ブルーボトルコーヒー」の出店が決まった。馬場川通りは公共空間ながら、市民グループが民間資金で歩道を改修する珍しい取り組みが始まっており、メンバーが「どんな通りにするべきか」と将来像を話し合っている。寂れつつあった街に幅広い市民の力が結集し、かつてない可能性が広がっている。(斎藤洋一)

市民によるまちづくりの舞台となっている前橋市の馬場川通り

APPROACH アプローチ
人気の喫茶店誘致 寄付金で歩道改修
「ブルーボトル」は洗練された店舗デザインが特徴で、「コーヒー界のアップル」と呼ばれている。国内では東京都や神奈川県、京

良い街に出店している。そこに目下、前橋市の店舗が加わる。市民による情熱的な活動の成果だ。起業家を養成するO16年度の群馬イノベーションアワード(GIA)で入賞した佐藤拓(さん50)は同市に、共に同市出身の長谷部展雄(さん45)、干場諒(さん33)の3人が「GVV」を起業。それぞれ本業を別け持つが、「地元を盛り上げたい」と考え、市街地に開業したデザイン性の高い白井屋ホテルのテナントとしてブルーボトルの誘致を決意。昨年12月に同社の国内責任者を招いて、街の動きや再生への思いを直接伝える、同社の理念と合致して異例の急展開となった。

GVVが事業主として運営パートナリングする。良い街に出店している。そこに目下、前橋市の店舗が加わる。市民による情熱的な活動の成果だ。起業家を養成するO16年度の群馬イノベーションアワード(GIA)で入賞した佐藤拓(さん50)は同市に、共に同市出身の長谷部展雄(さん45)、干場諒(さん33)の3人が「GVV」を起業。それぞれ本業を別け持つが、「地元を盛り上げたい」と考え、市街地に開業したデザイン性の高い白井屋ホテルのテナントとしてブルーボトルの誘致を決意。昨年12月に同社の国内責任者を招いて、街の動きや再生への思いを直接伝える、同社の理念と合致して異例の急展開となった。

新店次々、街に刺激

全国の地方都市と同様に、前橋市の中心街も人通りは少ないが、近年は人気店が相次ぎ出店し、店舗前に行列ができる光景が日常的になっている。馬場川通りと中央通りの

も街が集まれる場所にした。い。わ。く。わ。く。が。止。ま。ら。な。い。と。願。う。ブルーボトルが面する馬場川通り、同市の企業経営者でつくるまちづくり支援団体「太陽の会」(田中仁会長)が寄付した3億円、2023年11月までに改修工事が行われる。主体となる前橋デザインコミッション(MDC、天野洋一代表理事)は、広く市民に参加を募り、「馬場川通りア

県内367人陽性
新型コロナウイルス感染症が判明し、県内では

朝の
ジュニア
水
らい

ソーシャル・インパクト・ボンドの導入 (民間支援手法)

令和3年10月19日
都市局まちづくり推進課

前橋市が市民と共に“本気で”取り組む、まちづくりの新しいしくみが始動！ ～前橋市のソーシャル・インパクト・ボンド導入を支援～

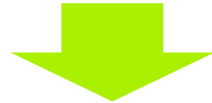
前橋市と一般社団法人前橋デザインコミッション（群馬県前橋市）は、第一生命保険株式会社（東京都千代田区）と連携し、地域コミュニティの再生やエリア価値の向上を図る民間まちづくりの支援に「ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）」を活用したスキームを構築しました。

SIBを導入することで、民間事業者の創意工夫を活かせるとともに、民間事業者に対し事業開始前の資金提供が可能になり、民間まちづくりの一層の進展が期待されます。

こうしたまちづくり分野において、SIBを活用することは全国初の取組になります。国土交通省は、前橋市の取組に対し、専門家の派遣などにより支援しました。

S I B導入のきっかけ

- ・ 太陽の会からの3億円の寄付金で公共施設を整備
- ・ M D Cが中心となり地域住民や若い世代が参画する準備委員会が発足
- ・ 民間がプロジェクトの構想、計画、整備、管理、活用を自分ごととして捉えている
- ・ 官地民地問わずデザイン性に優れたプランや斬新なアイデアが提案されている



これまでの補助金や業務委託ではなく、
民間の裁量やノウハウを活かせる支援手法は？

S / Bの主な特徴

成果連動型民間委託 契約方式

- ・ 民間の創意工夫やノウハウの活用
- ・ 成果指標の設定による事業の質の向上
- ・ 成果連動による行政の財政リスク低減



外部の民間資金を調達

- ・ 新たなビジネスチャンスの創出
- ・ 資金提供者のシビックプライドの醸成
- ・ 受託者のリスク分散

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業

【目 的】

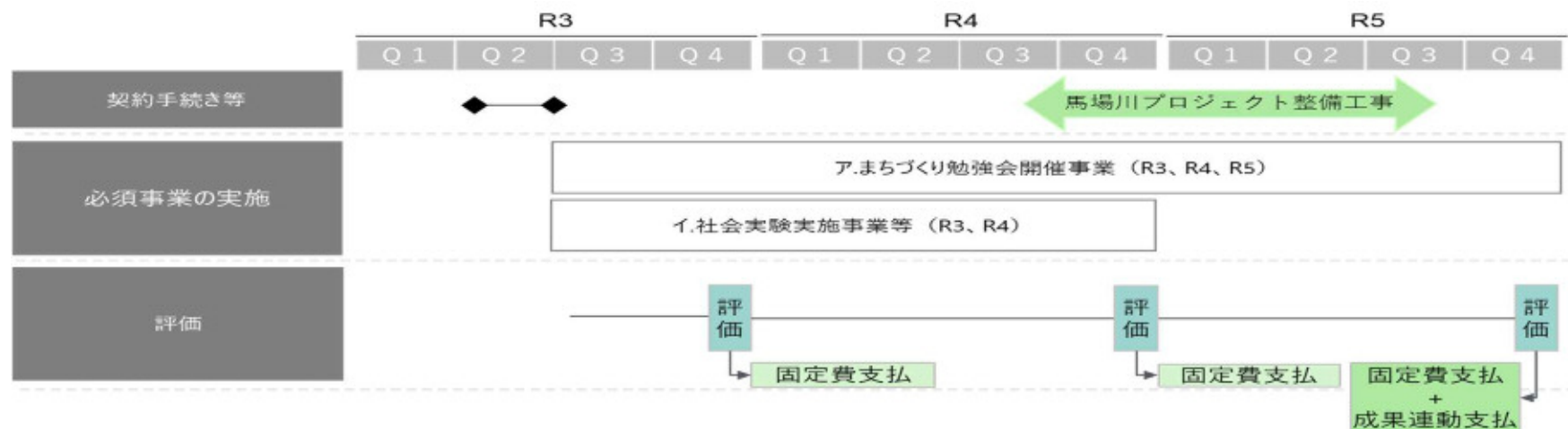
馬場川通りを対象に地域まちづくり勉強会や公共空間の利活用に関する社会実験などにより、地域コミュニティの再生及びエリア価値の向上に資する取り組みを支援

【受託者】

一般社団法人 前橋デザインコミッション（都市再生推進法人）

【委託期間】

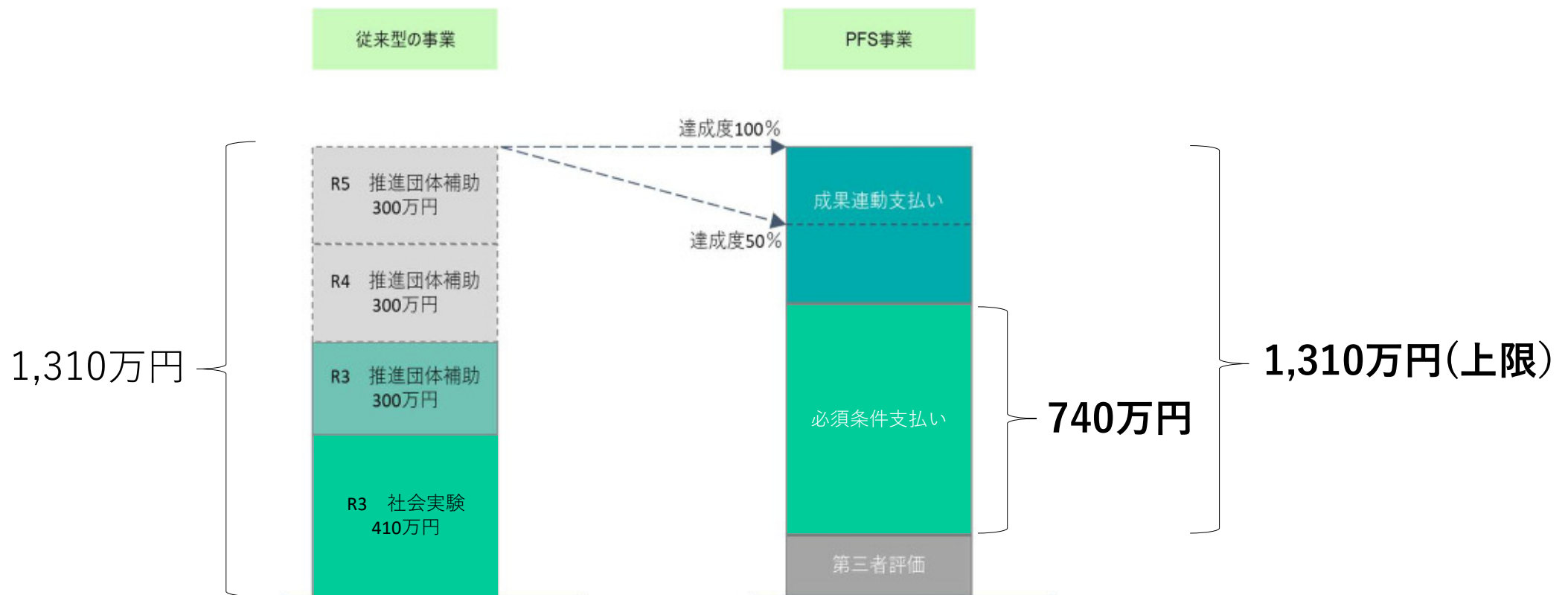
令和3年9月16日～令和6年3月31日（3年間）



SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業

【成果報酬額】

740万円～1310万円で変動



※必須条件支払い

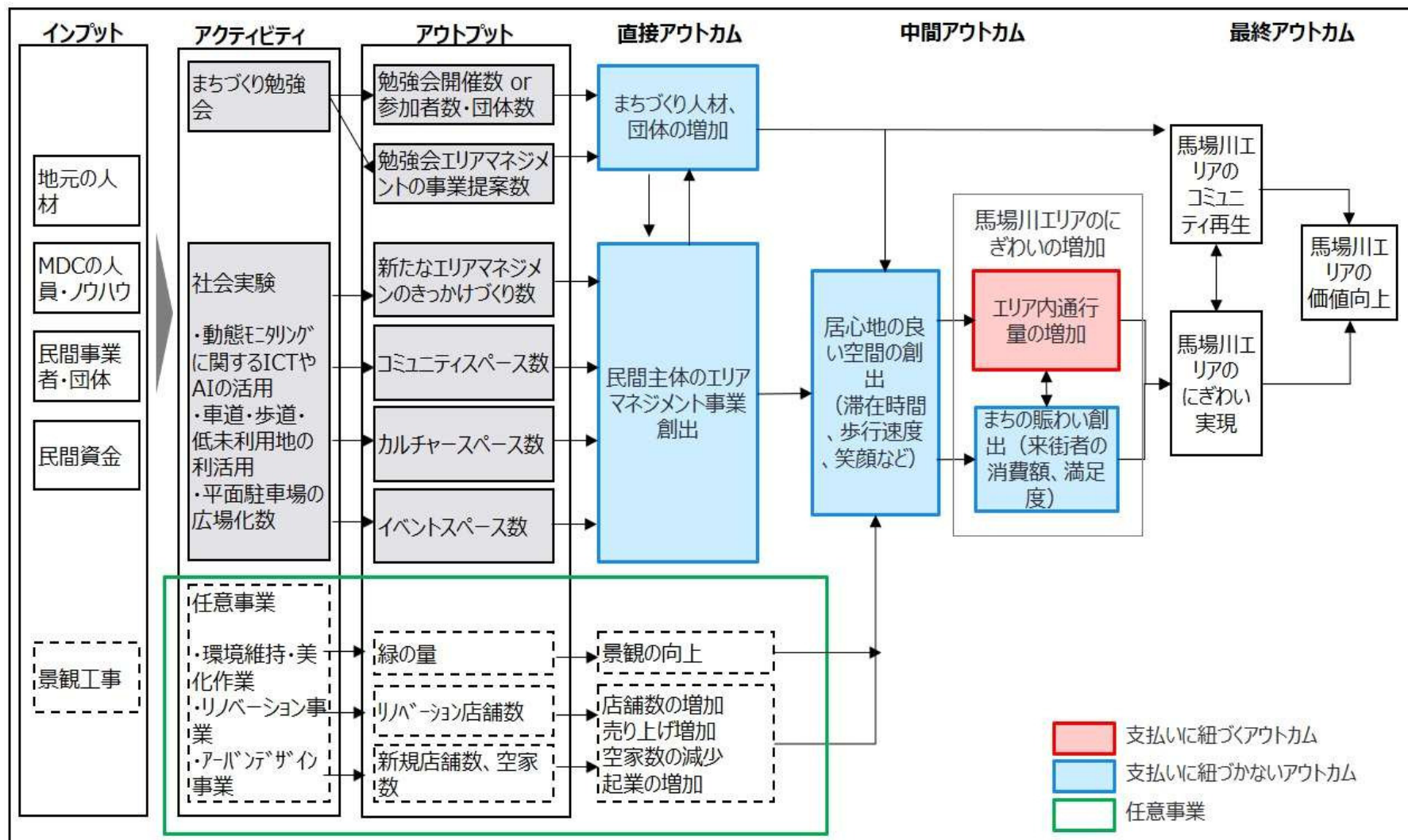
地域まちづくり勉強会の開催費用、屋外空間の利活用による社会実験の実施費用

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業

【成果指標】

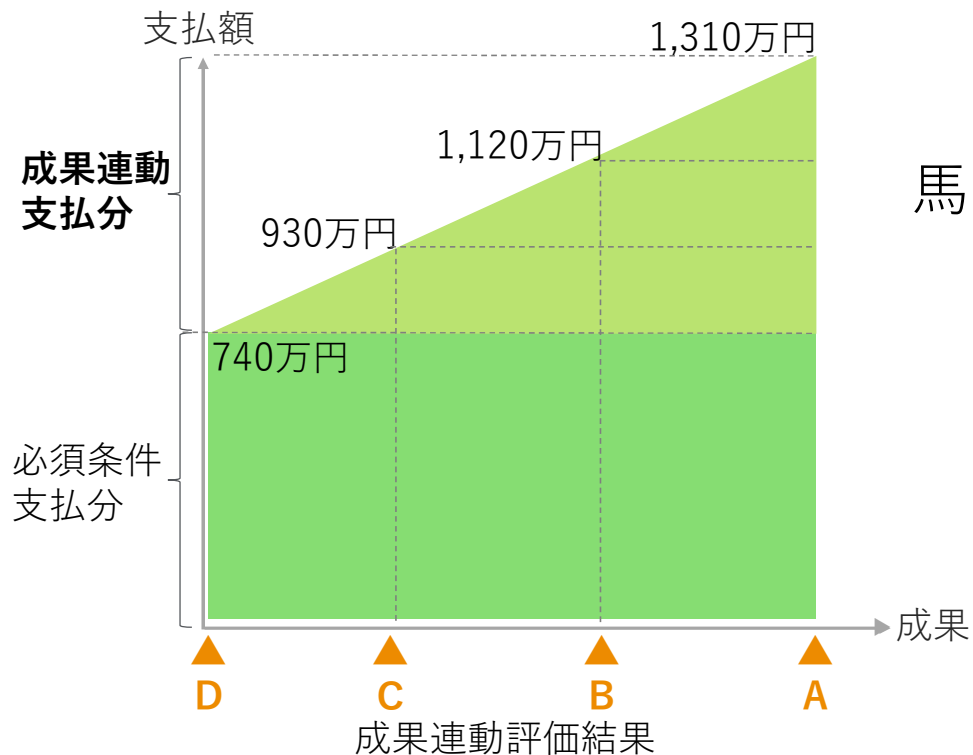
ロジックモデルによる中間アウトカムの「歩行者通行量」に設定

ロジックモデル



SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業

リターンイメージ



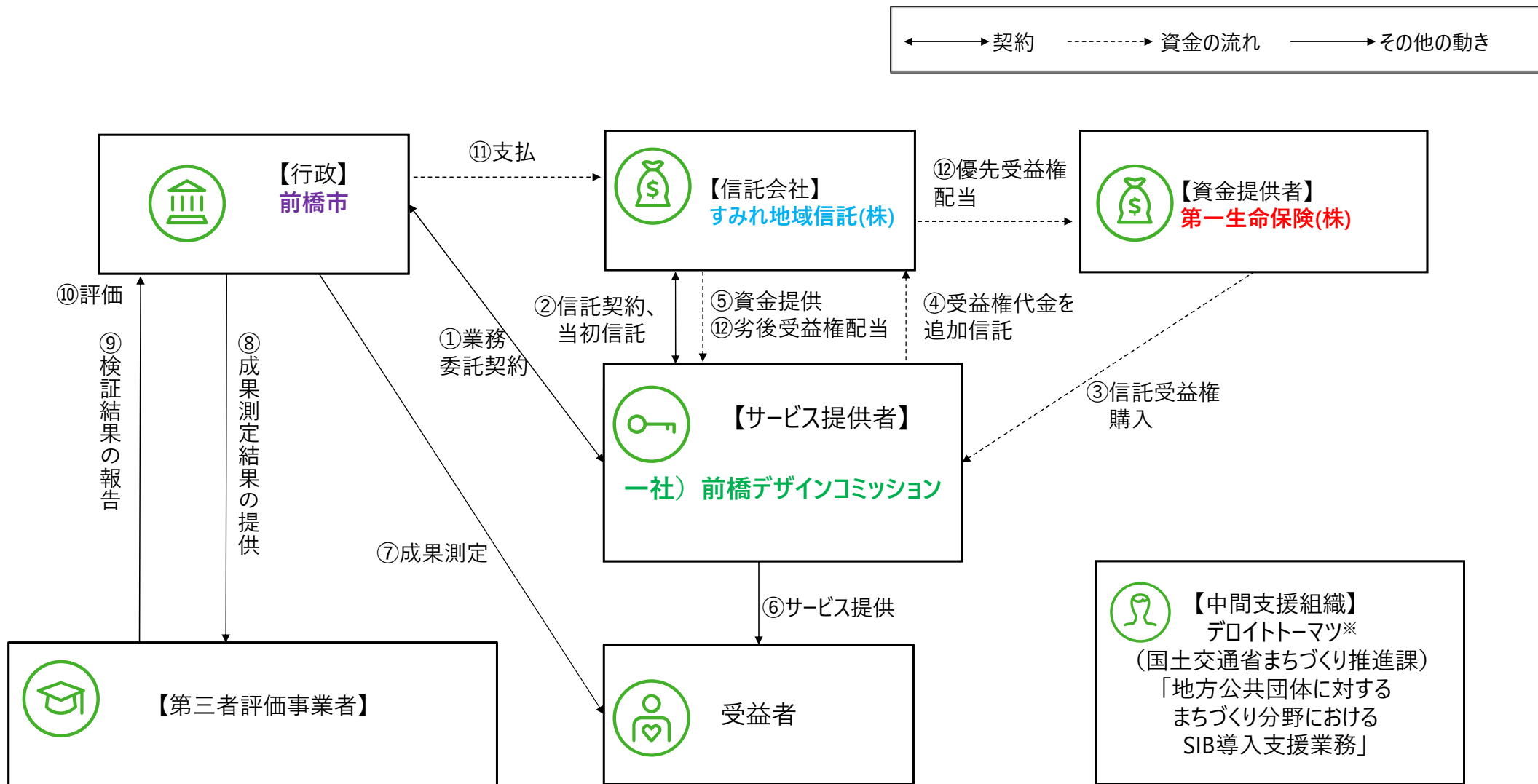
馬場川通りにおける一ヶ月あたりの歩行者数
(現況：40,248人)

A：45,915人以上
B：43,663人以上
C：41,411人以上
D：41,410人以下

※目標値の設定

標準的な推計値をベースライン（C）とし、中心市街地活性化基本計画の目標値を上限值（A）として、中間値（B）、標準以下（D）を設定

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業



※ 本スキームでは、中間支援組織は直接の契約主体とはならないものの、実態としては事業全体の企画設計・推進・コーディネート等に関与。





18:00~8:00
700円

18:00~8:00
15分/100円

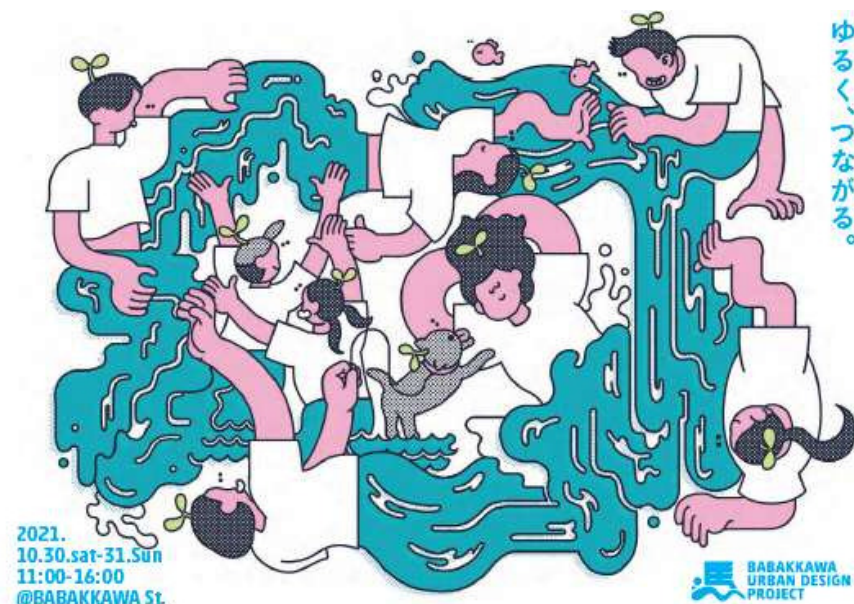
センター
0-115-076 Information

第2









見えた未来!第1回 社会実験の成果とは?

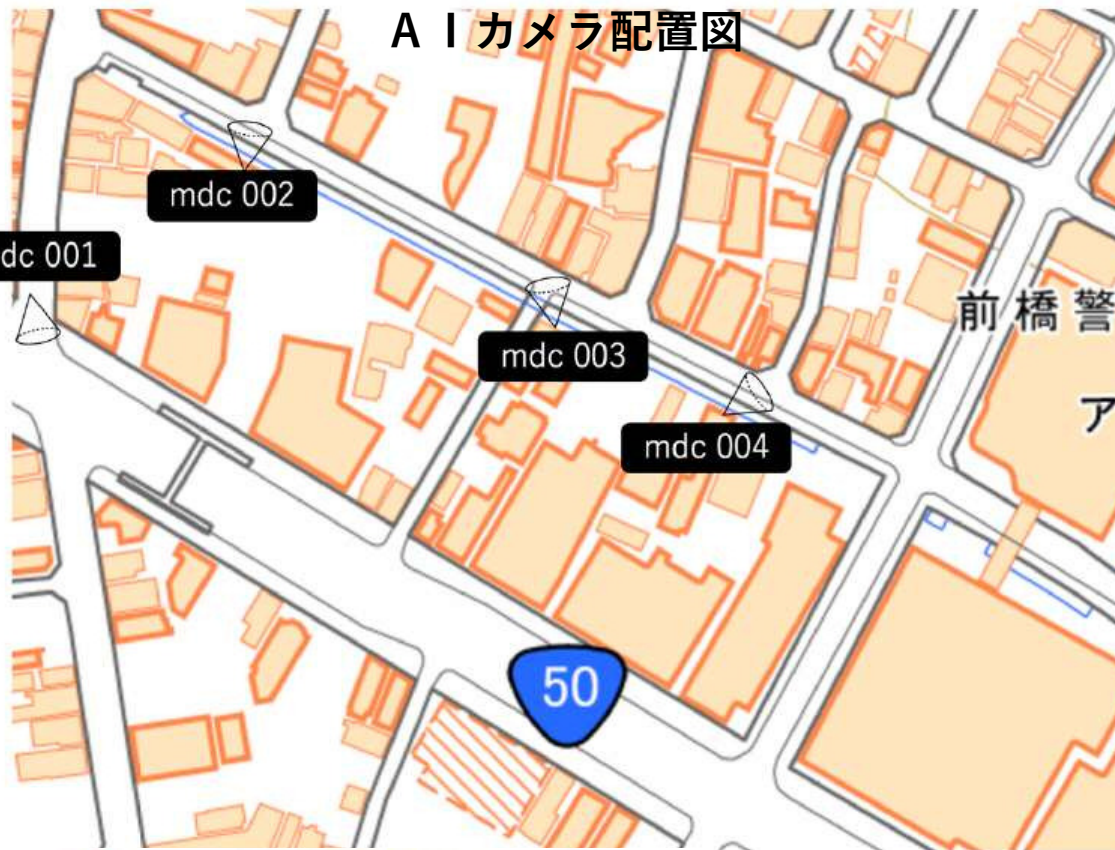
まず顕著な人流増加効果が得られました。当日は、いつもの約2.5倍、開催後も開催前に比べて約1.5倍に増えました。来訪者の多くは県内の20~40代のファミリー層でしたが、ふだん馬場川を訪れない層も多く、社会実験がエリア回遊のきっかけに。特にキッズエリア、マルシェエリア、歩行者天国、ストリートファニチャーは高い評価が得られました。今回得られた成果を参考にしながら、今後はベースとなる人流を増やすためにもイベントなどの社会実験を継続していくことが大切になります。

土日の人流増加の効果

当日 **258%** ▶ 翌週 **145%** ▶ 翌々週 **128%**

A I カメラによる計測結果

A I カメラ配置図



通行禁止区間



A I カメラ画像

001.中央通りと 50 号交差点付近 交通量調査結果

mdc001	車			人流		
	カウント	差分	比率	カウント	差分	比率
土日合算						
イベント前週	7,465			46		
イベント当日	8,451	986	113%	75	29	163%
イベント翌週	7,445	-20	100%	37	-9	80%
イベント翌々週	7,262	-203	97%	41	-5	89%

002.馬場川入り口付近 交通量調査結果

mdc002	車			人流		
	カウント	差分	比率	カウント	差分	比率
土日合算						
イベント前週	2,901			1,664		
イベント当日	2,675	-226	92%	4,294	2,630	258%
イベント翌週	2,829	-72	98%	2,417	753	145%
イベント翌々週	3,040	139	105%	2,126	462	128%

003.馬場川通り中間付近 交通量調査結果

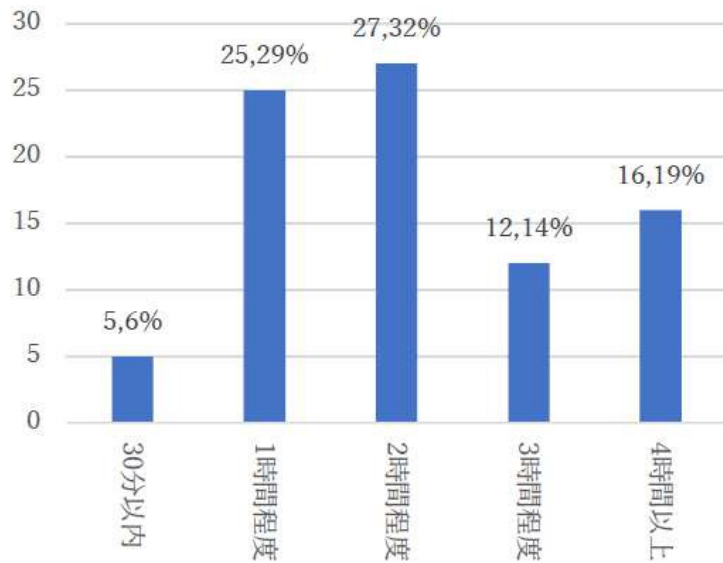
mdc003	車			人流		
	カウント	差分	比率	カウント	差分	比率
土日合算						
イベント前週	1,893			3,310		
イベント当日	1,060	-833	56%	7,345	4,035	222%
イベント翌週	1,644	-249	87%	5,346	2,036	162%
イベント翌々週	2,319	426	123%	3,409	99	103%

004.馬場川通り千代田町交差点付近 交通量調査結果

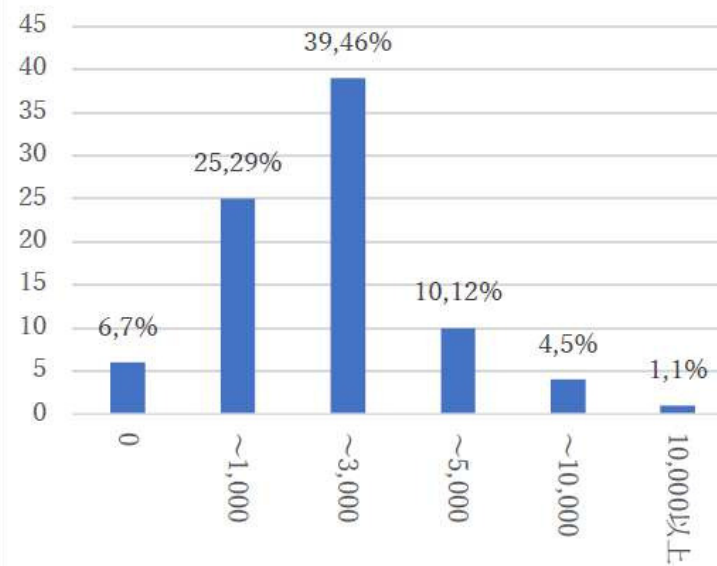
mdc004	車			人流		
	カウント	差分	比率	カウント	差分	比率
土日合算						
イベント前週	875			3,228		
イベント当日	317	-558	36%	7,146	3,918	221%
イベント翌週	1,064	189	122%	3,780	552	117%
イベント翌々週	902	27	103%	3,578	350	111%

アンケート調査結果(一部)

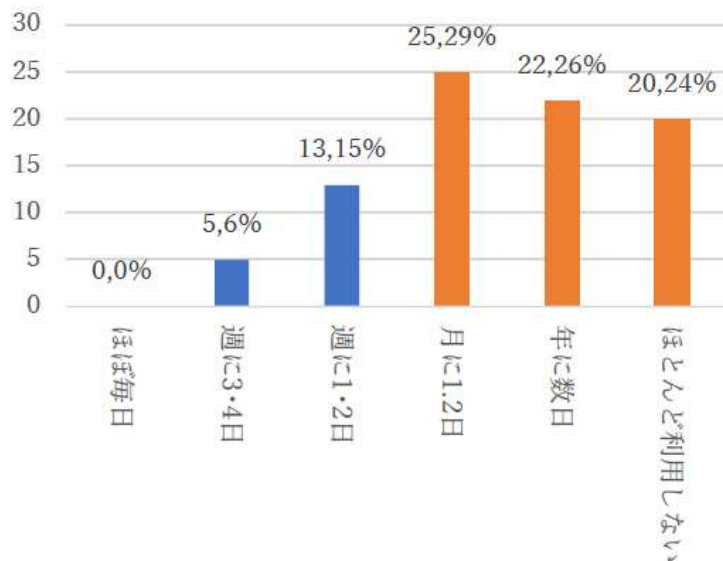
10.中心市街地 滞在時間



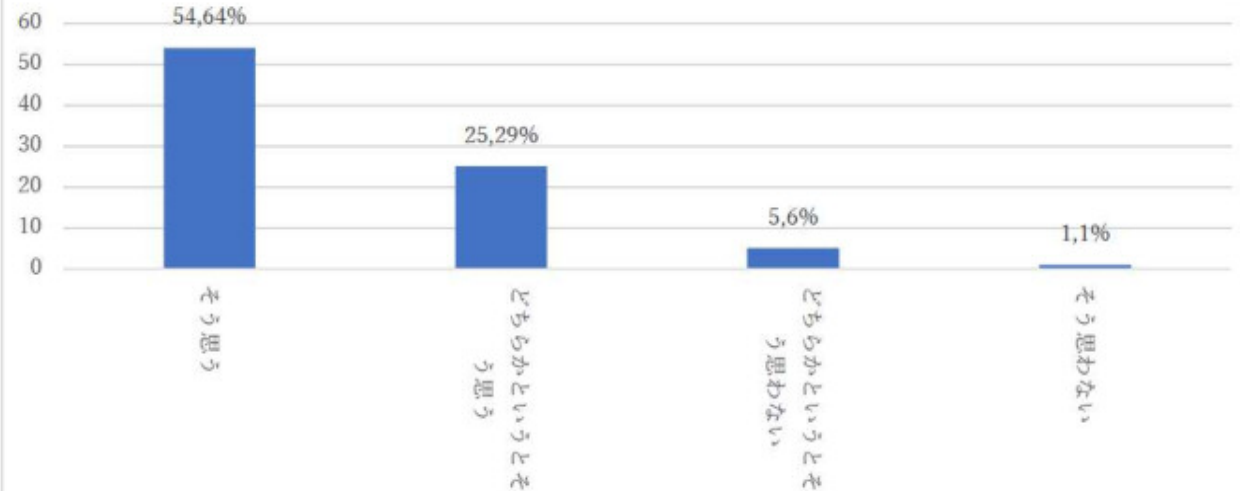
12.街中での消費予定金額



8.日常の馬場川通り利用頻度



14.馬場川パーク満足度(またきますか?)



支払に紐づかない評価項目

成果指標（案）	本事業期間内で達成すべきアウトカム	測定方法	測定時期	備 考
居心地の良さ	居心地の良い空間の創出	アンケート・目測	定期・社会実験	国交省指標関連
来街者の消費額	まちの賑わい創出	アンケート	定期・社会実験	
来街者の満足度	まちの賑わい創出	アンケート	定期・社会実験	
まちづくり活動の開催数	まちづくり人材、団体の増加	実数カウント	勉強会・社会実験	
まちづくり活動の参加者数	まちづくり人材、団体の増加	実数カウント	勉強会・社会実験	
滞在時間	居心地の良い空間の創出	目測 ⇒A I カメラ	2月・7月定期測定 社会実験	国交省指標関連
アクティビティ数	居心地の良い空間の創出	目測 ⇒A I カメラ	2月・7月定期測定 社会実験	国交省指標関連
笑顔	居心地の良い空間の創出	目測 ⇒A I カメラ	社会実験	
歩行速度	居心地の良い空間の創出	A I カメラ	社会実験	
新規出店数、売上高	出店数・売上高増加	アンケート・目測	定期・社会実験	

An aerial perspective of a city planning concept. The image shows a grid of streets with various colored blocks representing different land uses: green for parks and green spaces, light green for smaller open areas, and white/grey for building footprints. A river or canal flows along the left side, with a bridge crossing it. The overall layout suggests a modern, integrated urban design.

ご清聴ありがとうございました。